

令和 5 年度

予算概要説明書

新見市

予算概要説明書 目次

当初予算の概要	1
---------	---

当初予算主要事業

I 産業・経済	2
II 健康・福祉	12
III 教育・文化・スポーツ	16
IV 安全・生活基盤	20
V 都市基盤・交通	24
VI 環境	26
VII 交流・コミュニティ	30

附属資料

会計別当初予算集計表	34
一般会計当初予算歳入の状況	35
一般会計当初予算歳出の状況（目的別）	36
一般会計当初予算歳出の状況（性質別）	37
一般会計当初予算構成比率（グラフ）	38
当初予算額の推移（グラフ）	39
一般会計地方債年度末現在高の推移（グラフ）	39
一般会計基金年度末現在高の推移（グラフ）	39

令和5年度 当初予算の概要

令和5年度の一般会計当初予算は、「移住・定住の推進」「稼げる地場産業の振興」「脱炭素社会の実現」を柱に据え、新たな行政需要や課題に的確かつスピード感をもって対応するとともに、第3次新見市総合計画に掲げた基本構想の実現を加速化する予算編成を行っています。

歳入については、市税全体では、景気が緩やかに持ち直していることから、前年度に比べ1.0%増の34億3,608万円を計上しています。また、地方交付税については、前年度と同額の116億300万円とし、市債については、普通建設事業費の増額により、前年度に比べ22.4%増の40億7,100万円を計上しています。

歳出については、地方創生テレワーク推進事業、空き家活用推進事業などによる移住・定住の推進、ふるさと納税促進事業の拡充、オリジナルICOCAを活用した地域活性化事業による市内経済対策のほか、高齢者等タクシー利用助成事業や鉄道利用促進事業など住民の移動手段を守る施策に積極的な予算配分を行っています。また、結婚・出産・子育て支援、ICT教育及びキャリア教育の推進、観光PR戦略、地域共生社会の構築を目指す取組などにも継続かつ拡充した予算配分を行っています。

新たな事業としては、稼げる地場産業を振興する事業として、スマート農業推進事業、森林情報デジタル化推進事業などのDX事業や千屋牛増頭を目指す生産基盤拡大事業などを実施し、脱炭素社会を実現する施策として、事業者相談支援や自家用電気自動車購入費の助成などを予算化しています。また、本市の魅力をも効果的に情報発信するため、潜在・関心・コアファン層のそれぞれに応じたシティプロモーション事業を積極的に展開する予算を計上しています。

義務的経費については、人件費が前年度に比べ1.2%増の49億1,077万円、公債費が市債の発行抑制や繰上償還の実施などにより、前年度に比べ5.0%減となる32億2,660万円となっています。

普通建設事業費については、本年度から建設工事に着手する消防庁舎整備事業をはじめ、げんき広場にいみ改修事業、新見駅前駐車場・駐輪場再整備事業、地域運営組織活動拠点施設整備事業、神代小学校大規模改修事業などにより、前年度に比べ13.5%増となる40億5,066万円を計上しています。

以上の結果、一般会計の当初予算総額は、前年度に比べ1.7%増の254億8,042万円となっています。

令和5年度 当初予算主要事業

新 = 新規事業 継 = 継続事業 拡 = 拡充事業

DX = DX事業

I 産業・経済

～産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる～

DX

継

■ I COCA を活用した地域活性化事業

本市オリジナルICOCAの利用を習慣化し、市内におけるキャッシュレス化の推進と利用の促進を強力に進めるため、現金チャージに対して高率のにーみんポイントを付与します。

予算額 75,100 千円
担当課 商工観光課

DX

新

■ スマート農業推進事業

意欲ある担い手を支援するため、リモコン式草刈機、自走式噴霧器、空中散布用ドローンなどの購入費や、ドローン操作に必要な資格取得費の一部を助成します。

予算額 4,200 千円
担当課 農業畜産振興課

DX

新

■ 森林情報デジタル化推進事業

境界不明確な森林が多数存在し、森林施業の妨げとなっているため、各種森林情報をデジタル化し、GIS上で一元的管理が行える森林ICTプラットフォームを構築します。

予算額 48,000 千円
担当課 林業振興課

新

■ 耕畜連携推進事業

水稲農家の経営安定のため、飼料作物・WCS用稲・飼料用米への転作に対し上乗せ助成を行い、水田の遊休農地化を防ぐとともに、畜産飼料の自給率向上を図ります。

予算額 5,000 千円
担当課 農業畜産振興課

**新****■ 千屋牛生産基盤拡大事業**

3年間で千屋牛の飼養頭数20頭以上の増頭を目指す畜産農家や法人に対し、牛舎等の施設整備または草地刈取用機械等の設備整備費用の一部を助成します。

予算額	6,000 千円
担当課	農業畜産振興課

**新****■ 飼料生産基盤拡大事業**

粗飼料生産組織または組織に位置付けを予定している者に対し、飼料生産基盤拡大に必要な収穫用機械または飼料の一時保管設備整備費用の一部を助成します。

予算額	5,000 千円
担当課	農業畜産振興課

**拡****■ 千屋牛生産振興奨励事業**

意欲ある経営体の千屋牛生産振興を図るため、黒毛和種雌牛を自家で生産し保留、または市場等から購入した場合、奨励金を交付します。

予算額	12,450 千円
担当課	農業畜産振興課

**新****■ 遠隔わな監視システム等導入事業**

有害鳥獣捕獲わなの管理に係る負担を軽減し、狩猟者の担い手確保につなげるため、多頭数の捕獲が可能な囲いわなに遠隔管理システム等を導入し、捕獲成果を検証します。

予算額	3,752 千円
担当課	農業畜産振興課

**新****■ 猪解体処理施設設備整備事業**

捕獲した猪肉の有効活用を図るため、大佐猪解体処理施設に食品衛生法の改正に対応したブロック肉での異物検出が可能な金属探知機を導入します。

予算額	2,100 千円
担当課	農業畜産振興課



新

■ ジビエ加工品等レシピ作成事業

都市部での販売やふるさと納税返礼品を意識した美味しいジビエ加工品のレシピを作成します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額 300 千円
担当課 農業畜産振興課



新

■ 道の駅「鯉が窪」設備改修事業

道の駅「鯉が窪」レストラン棟の空調設備を改修することにより設備環境を改善し、団体客を積極的に誘致します。

予算額 17,500 千円
担当課 哲西支局・農業畜産振興課



新

■ 神郷特産物展示直売研修施設改修事業

店内で調理したパンなどを販売するため、施設内に調理製造ができるスペースを整備します。

予算額 2,100 千円
担当課 神郷支局・商工観光課



継

■ 新規就農者育成総合対策事業

次世代を担う農業者になることを志向する新規就農者に対して、経営確立に必要な資金と就農後の機械・施設等の導入を支援します。

予算額 23,000 千円
担当課 農業畜産振興課



継

■ 農業実務研修支援事業

ぶどう、トマト、リンドウの経営を開始する新規就農者に対して、農業実務研修に係る経費の一部を助成します。(55歳以上60歳未満の支援は市独自の助成)

予算額 2,600 千円
担当課 農業畜産振興課



継

■ 農業後継者定住促進事業

農業経営者クラブ等への補助による農業後継者の育成や、新規就農者への住宅賃借料、リフォーム費用等の補助を行うことにより、農業後継者や新規就農者の定住促進を図ります。

予算額	3,824 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ 新規就農者確保対策事業

新規就農者の負担を軽減し、早期の経営基盤確立を図るため、新規就農者が新たに果樹棚等を整備する場合、従来のふるさと特産物育成対策事業に係る個人負担分を市が全額助成します。

予算額	9,000 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ ワイン用ぶどう苗木購入助成事業

ワインの増産を図り、更なるブランド化につなげるため、ワインぶどう就農者に対して、苗木購入に係る経費の一部を助成します。

予算額	450 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ 新特産品開発事業（バイオマス燃焼灰利用肥料）

バイオマス燃焼灰利用肥料が本市の特産品となりうるか、栽培実証試験により効果等を検証します。（新見高校に委託）

予算額	300 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ 産地パワーアップ事業（リンドウ選花場設備整備）

集出荷施設の増強を行う農業団体に対して、リンドウ全自動選別結束設備導入経費の一部を支援します。

予算額	22,500 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ 園芸作物作付奨励事業

遊休農地の増加を抑制するため、ぶどう、トマト、リンドウ、桃の作付を行う地域の中心的担い手に農地の利用集積を行う場合、貸し手と借り手に奨励金を交付します。

予算額	400 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ 荒廃農地再生事業

新たな担い手への農地の承継や集積を図るため、荒廃農地を再生する場合、再生に係る費用の一部を助成します。

予算額	500 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ 有害鳥獣捕獲駆除事業

有害鳥獣を捕獲駆除するため、駆除活動班への活動助成金やイノシシ・サル等の捕獲奨励金を支給します。また、ハンター保険や新規狩猟免許取得等手数料の一部を助成します。

予算額	21,980 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ 農作物被害対策事業

イノシシ・サル等による農作物被害軽減のため、鳥獣被害防止対策実施隊の活動を支援します。また、捕獲柵や防護柵等の設置に係る経費を助成します。

予算額	32,109 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ 農地中間管理機構関連農地整備事業

大佐布瀬地区の農地のほ場整備を行います。(令和5年度は事前換地計画及び実施計画の策定)

予算額	9,125 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ 小規模土地改良事業（豊永営農団地造成工事（第2期））

安定した取水による営農を行うため、拡張した豊永営農団地の配管工事等を行います。

予算額 29,400 千円
担当課 農業畜産振興課



継

■ 「未来へつなぐ新見の林業会議」運営事業

令和4年度に設立した「未来へつなぐ新見の林業会議」において、本市林業の将来的な目標及び課題の共有化を図るとともに、林業の活性化に必要な施策を検討します。【森林環境譲与税事業】

予算額 927 千円
担当課 林業振興課



継

■ 地域林業担い手育成事業

「未来へつなぐ新見の林業会議担い手対策部会」を中心に、若者や移住者等に向けた林業のPR活動や就業相談等を行い、林業の担い手を確保します。【森林環境譲与税事業】

予算額 1,841 千円
担当課 林業振興課



継

■ 木材生産向上支援事業

森林施業等の効率化と生産性の向上を推進するため、新規購入に比べて安価な中古高性能林業機械等購入費の一部を助成します。【森林環境譲与税事業】

予算額 40,000 千円
担当課 林業振興課



継

■ 新見産材のぬくもりを活かした家づくり支援事業

新見産材の需要拡大のため、木造住宅の新築または既存住宅の増改築に係る経費などを支援します。【森林環境譲与税事業】

予算額 13,000 千円
担当課 林業振興課



継

■ ウッドスタート事業

木育の推進を図るため、新見産木材を活用した木のおもちゃを市内で製作し、1歳6ヵ月児にプレゼントします。また、本年度は観光施設の一部を木質空間として整備します。【森林環境譲与税事業】

予算額 6,255 千円
担当課 林業振興課



継

■ 木材新特産品開発事業

需要拡大と木工分野の活性化を図るため、新見産木材を使用した木のおもちゃの開発研究を行います。【森林環境譲与税事業】

予算額 500 千円
担当課 林業振興課



継

■ 林業・木育普及活動支援事業

林業に関する活動やイベント等の開催により、林業・木育に関する普及啓発を行う団体に対して、活動経費の一部を助成します。【森林環境譲与税事業】

予算額 1,500 千円
担当課 林業振興課



継

■ 市有林整備事業

伐期を迎えた市有林のうち収入を見込める場所について、立木売却を行い、適正な間伐を推進します。また、花粉の少ない森林への転換のため、皆伐再造林を行います。

予算額 60,000 千円
担当課 林業振興課



継

■ 法務局証明サービスセンター運営事業

中小企業支援対策として、市内において法人の印鑑証明や不動産の登記事項証明書取得の負担を軽減するため、法務局証明サービスセンターを運営します。

予算額 9,824 千円
担当課 商工観光課



継

■ 創業・事業承継支援事業

地域における創業促進のため、創業支援セミナーを開催します。また、市内で新たに創業する人や事業承継する人に対し、創業・事業承継に係る経費の一部を支援します。

予算額	5,525 千円
担当課	商工観光課



継

■ 経営革新支援事業

中小企業の経営向上を図るため、県の承認を受けた「経営革新計画」に基づき取り組む新たな事業活動に要する経費の一部を支援します。

予算額	10,000 千円
担当課	商工観光課



継

■ 中小企業支援事業

市内中小企業者に対し、展示会出展事業、店舗等改装事業、多言語化対応事業に係る経費の一部を支援します。

予算額	6,200 千円
担当課	商工観光課



継

■ 新型コロナウイルス感染症関連融資利子補給事業

新型コロナウイルス感染症の影響で経営に支障が出ている中小企業者等に対して、経営の安定に必要な資金として金融機関から受けた融資の利子補給を行います。

予算額	5,485 千円
担当課	商工観光課



継

■ 資格取得費支援事業

専門人材の確保・育成及び定着を支援するため、地元企業及び従業員に対して、資格取得に係る経費を助成します。

予算額	3,000 千円
担当課	商工観光課



継

■ 就職支援事業

市内事業所の雇用確保のため、市外から転入し市内事業所へ正社員として就労する人に対して、転居に要する費用としてIJUターン就職奨励金を交付します。

予算額 11,000 千円
担当課 移住・定住推進課



継

■ FAN開催事業

市民相互の親睦や本市の魅力を市内外に発信し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るため、新たにいみのまつり「FAN」を開催します。

予算額 4,850 千円
担当課 商工観光課



継

■ 岡山アフターDC開催事業

令和5年度に、岡山アフターデスティネーションキャンペーンが実施されることから、開催期間である7～9月にJR等を活用した観光資源のPR及び誘客促進等を図ります。

予算額 1,100 千円
担当課 商工観光課



継

■ ふるさと大使を活用した観光PR動画作成事業

文化庁芸術祭大衆芸能部門優秀賞を受賞したふるさと大使の石原祐美子さん(チキチキジョニー)が出演する観光PR動画を作成し、本市の魅力を全国に発信します。

予算額 1,800 千円
担当課 商工観光課



継

■ 観光協会活動支援事業

周遊型観光ツアーや観光バスツアー等の観光誘客に資する活動を支援し、本市の観光振興を促進します。

予算額 33,400 千円
担当課 商工観光課



継

■ 観光戦略マネージャー活用事業

専門的な知識やノウハウを有する民間企業の社員を受け入れ、観光協会の体制強化を図るとともに、市内外の観光関連事業者等との連携強化や新たな観光商品の開発等を行います。

予算額 11,000 千円
担当課 商工観光課



継

■ 観光連携事業

隣接する2市と連携し、各市にあるコンテンツと組み合わせた周遊ルートを開発し、本市への観光誘客の促進を図ります。

予算額 2,000 千円
担当課 商工観光課



継

■ アグリツーリズム推進事業

地域と連携したアグリツーリズムの企画立案及びリニューアルした草間の「ヴィラージュかれんふえると」等を活用したモニターツアーを実施します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額 2,200 千円
担当課 商工観光課



継

■ カルスト山荘運営事業

近年のアウトドア需要の高まりやアグリツーリズムへの関心も高くなり、継続的な施設利用が見込まれるため、カルスト山荘の観光客受入を再開します。(令和4年度にカルスト山荘長期滞在施設を2棟改修)

予算額 2,546 千円
担当課 農業畜産振興課

II 健康・福祉

～健やかに暮らせ、子育てができるまちをつくる～



新

■ 高齢者等タクシー利用助成事業

運転免許証を所持していない75歳以上の高齢者や障がい者・要介護者等に対して、試行的にタクシー料金の一部を助成し、外出機会の増進を図ります。

予算額	7,470 千円
担当課	福祉課



新

■ 地域子育て支援活動事業

地域における親子の交流活動や地域ぐるみで子育てを支援する環境づくりを促進するため、子育て中の親子の団体に対して、運営費の一部を助成します。

予算額	900 千円
担当課	子育て支援課



新

■ 養育費履行確保支援事業

養育費の取決めに係る公正証書等の作成に要する本人負担を助成することで、債務名義化の促進と養育費の継続的な履行を確保し、ひとり親家庭の児童福祉の向上を図ります。

予算額	215 千円
担当課	子育て支援課



新

■ 医療的ケア児等支援事業

医療的ケア児等を支援するため、障害児者支援事業所等に対して、受入れを行った際の費用や、事業実施に必要な専用ベッド等の購入費用を助成します。

予算額	2,440 千円
担当課	福祉課



拡

■ 意思疎通支援事業

社会生活におけるコミュニケーションの確保を図るため、聴覚障がい者等に手話通訳者や要約筆記奉仕員を積極的に派遣します。

予算額	424 千円
担当課	福祉課



継

■ げんき広場にいみ改修事業

健康増進施設「げんき広場にいみ」のプール屋根、給湯配管、照明更新などの大規模改修を行います。

予算額	244,574 千円
担当課	健康医療課



継

■ 不妊・不育対策支援事業

医療保険対象外の不妊治療及び不育治療を受けた夫婦に対して、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を行います。

予算額	3,900 千円
担当課	健康医療課



継

■ 乳児・妊産婦個別健康診査無料化事業

乳児及び妊産婦の疾病、異常の早期発見・対応を図るため、一般健診の無料化を行います。

予算額	16,092 千円
担当課	健康医療課



継

■ 妊娠・出産包括支援事業

妊娠期から子育て期にわたり、地域で安心して子育てができる環境づくりとして、母子保健コーディネーターの配置、母乳・育児相談、産後ケア入院、産後ヘルパー訪問、親子ふれあい教室等を開催します。

予算額	3,920 千円
担当課	健康医療課



継

■ 看護学生奨学支援金給付事業

地域医療を支える看護師不足を解消するため、市内の医療機関に看護師として勤務する意志がある学生に対し、修学に必要な資金を給付します。

予算額	16,809 千円
担当課	健康医療課



継

■ 岡山大学寄付講座事業（総合診療医学講座）

【国民健康保険特別会計】地域医療を担う若手医師の育成や教育・研究などに取り組んでいる岡山大学から医師の派遣を受け、へき地診療所に地域医療を担う人材を確保します。

予算額 22,000 千円
担当課 健康医療課



継

■ 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を行います。

予算額 318,701 千円
担当課 健康医療課



継

■ 保育所等 I C T 化推進事業

保育業務支援システムの導入により、保育士業務の負担を軽減し、より良い教育・保育の環境づくりを目指します。

予算額 5,197 千円
担当課 子育て支援課



継

■ 子育て支援金支給事業

次代を担う子の健やかな成長と明るい家庭を築くため、市独自の取組として1人につき10万円の出生祝金を支給します。

予算額 11,000 千円
担当課 子育て支援課



継

■ 出産・子育て応援事業

妊娠・出産・子育ての一貫した伴走型相談支援と妊娠・出産時の関連用品の購入助成や一時預かり等の利用者負担軽減を図る経済的支援を一体的に行います。（妊娠期5万円、出産後5万円を交付）

予算額 19,042 千円
担当課 子育て支援課



継

■ 子育て支援医療費給付事業

子育て環境の充実のため、市独自の取組として18歳まで医療費自己負担分の全額を給付します。

予算額 97,707 千円
担当課 子育て支援課



継

■ 地域子育て支援拠点事業

子育て中の親の孤独感や不安感の増大に対応するため、新見公立大学内において、子育て親子の交流等を促進する「にいみ子育てカレッジ交流ひろば”にこたん”」を運営します。

予算額 8,970 千円
担当課 子育て支援課



継

■ 介護学生奨学支援金給付事業

市内の福祉施設等に介護福祉士として勤務する意志のある学生に対し、修学に必要な資金を給付します。

予算額 1,890 千円
担当課 介護保険課



継

■ 介護手当給付事業

65歳以上の寝たきりまたは中度以上の認知症の状態にある高齢者を在宅で常時看護又は介護している人に対して、月額1万円を支給します。

予算額 28,691 千円
担当課 福祉課



継

■ 移動販売車購入支援事業

買物に課題を抱える高齢者等が増える一方、移動販売は縮小撤退の傾向にあるため、移動販売事業者に対して移動販売車の購入等に係る費用の一部を助成します。【ふるさとにいみ応援基金活用】

予算額 5,380 千円
担当課 総合政策課

Ⅲ 教育・文化・スポーツ

～誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる～



新

■ 中1ギャップ解消事業

中学校進学に伴う環境変化によって生じる、いわゆる「中1ギャップ」を解消するため、小・中交流授業や体験入学を通じて、不登校を生まない体制づくりを進めます。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額	900 千円
担当課	学校教育課



拡

■ ふるさとキャリア教育推進事業

本市の地域資源や人材を活用し、学校・家庭・地域が連携した地域学習を行うことで、地域への愛着や貢献意識を育み、本市の将来を担う人材の育成を目指します。(本年度は小学6年生も職場見学を実施)

予算額	5,280 千円
担当課	学校教育課



拡

■ 遠距離通学支援事業

保護者負担の軽減と義務教育の円滑な運営のため、遠距離を通学する児童生徒の保護者に対して、通学定期全額または交通費を助成します。(本年度から統一した基準を設け平準化)

予算額	4,738 千円
担当課	教育総務課



拡

■ 学校連携コーディネーター配置事業

本市を愛し支える人材を育成するため、学校連携コーディネーターを増員し、市内高校と地域・小中学校・大学及び企業との連携強化を図ります。

予算額	4,591 千円
担当課	総合政策課



拡

■ 図書館利用促進事業

市民がいつでも気軽に本を楽しめる環境を整えるため、市内図書施設の管理運営方法の平準化(開館時間の統一、人員配置の増員など)や、施設改修(本年度は哲多図書コーナーの拡充など)を行います。

予算額	26,387 千円
担当課	生涯学習課



新

■ 羅生門整備事業

羅生門来場者の安全を図るため、第一展望台、遊歩道階段、水路の整備を行います。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額	9,800 千円
担当課	生涯学習課



新

■ 新見荘魅力発信事業

本市の歴史を象徴する新見荘について、市民向けの学習機会の提供や有識者による調査を行うなど、関連史跡の国指定文化財化を目指した取り組みを行います。

予算額	343 千円
担当課	生涯学習課



新

■ 備中漆保存事業

備中漆の保存を図るため、漆の保存活動等を行う市内団体に対して、活動経費の一部を助成します。

予算額	300 千円
担当課	生涯学習課



継

■ 小中一貫校整備検討事業

将来的な児童生徒の減少等への対応や教育の質の充実を図るため、新たな教育制度の導入に向け、大佐小中一貫校整備方針の検討を行います。

予算額	5,000 千円
担当課	教育総務課



継

■ 放課後児童健全育成事業

放課後の時間帯等に保護者が就労等で不在の児童を健全に育成するため、地域や保護者等が中心となって遊びや生活の場を提供する放課後児童クラブに対して、運営補助金を交付します。

予算額	60,784 千円
担当課	学校教育課



継

■ インクルーシブ教育推進事業

障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒が、可能な限り共に学ぶインクルーシブ教育を推進するため、特別支援員等の配置や特別支援教育推進センター、適応指導教室による支援を行います。

予算額	46,355 千円
担当課	学校教育課



継

■ 教員業務支援事業

教員が子どもと向き合う時間を確保し、教育の質の向上を図るため、用務員、配膳員、教師業務アシスタント、業務サポーターを配置し、教員の働き方改革を進めます。

予算額	26,334 千円
担当課	学校教育課



継

■ ICT教育推進事業

GIGAスクール構想実現のため、全小中学校に導入したタブレット端末や電子黒板などを活用し、ICT指導員及び支援員6名を配置するなどICT教育を推進します。

予算額	20,180 千円
担当課	学校教育課



継

■ ドローンプログラミング事業

児童生徒の論理的思考力を伸ばすため、多方面で活用が進むドローンを活用したプログラミング教育を市内全小中学校に展開します。【ふるさとにしみ応援基金活用】

予算額	8,338 千円
担当課	学校教育課



継

■ 小学校大規模改修事業

学校施設長寿命化計画に基づき、神代小学校の大規模改修を行います。

予算額	155,900 千円
担当課	教育総務課



継

■ 小中学校施設トイレ改修事業

学校トイレの洋式化、乾式化への改修を令和2年度～6年度の5ヵ年計画で行います。(本年度は、設計:小学校3校・中学校1校、工事:小学校3校・中学校3校)

予算額	285,812千円
担当課	教育総務課



継

■ 高校魅力化推進事業

市内高校の魅力向上を図るため、自校の魅力化に向けた取組やオリジナル商品の開発を支援します。また、市内高校へ公共交通機関で通学している生徒に定期券購入費の半額を助成します。

予算額	7,800千円
担当課	総合政策課



継

■ ふるさと絵本出版事業

本市の文化的特長を生かしたまちづくりとして、竹の谷蔓牛の歴史をテーマとした絵本を製作し、小学校、公民館、市内外の図書館等へ配付します。【ふるさとにしみ応援基金活用】

予算額	5,000千円
担当課	生涯学習課



継

■ 文化交流館設備整備事業

建設から20年以上経過した「まなび広場にしみ」のリモート機器、吊物機構、照明卓、音響設備の更新を行います。

予算額	120,000千円
担当課	生涯学習課



継

■ 新見美術館特別展開催事業

新見美術館において「宮西達也の世界ワンダーランド絵本展」と「小野田尚之展」を開催します。【ふるさとにしみ応援基金活用】

予算額	14,000千円
担当課	生涯学習課

IV 安全・生活基盤

～安全で、市民生活を支えられるまちをつくる～



継

■ 消防庁舎整備事業

将来にわたる市民の安全安心な暮らしを実現するため、新見水舟地区に新たな防災拠点となる消防庁舎を建設します。(令和6年度完成予定)

予算額 655,408 千円
担当課 消防本部



継

■ 消防緊急通信指令台更新事業

119番通報の受付、出動指令、車両運用管理、無線情報通信を円滑に行うため、消防・防災機能の中核設備である消防緊急通信指令台を更新します。

予算額 120,053 千円
担当課 消防本部



継

■ 総合防災訓練実施事業

市民の防災意識の高揚を図るため、本市と県の共催により、消防・警察・自衛隊等の防災関係機関と連携した総合防災訓練を行います。

予算額 3,000 千円
担当課 総務課



継

■ 個別避難計画作成促進事業

避難行動要支援者の災害時における避難支援を実効性のあるものとするため、一人ひとりの状況に合わせた個別避難計画作成します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額 6,800 千円
担当課 総務課



継

■ 井倉洞前浸水対策事業

井倉洞前の度重なる水害を軽減し、観光客の安全安心を図るため、土地の一部を嵩上げた芝生公園を整備します。

予算額 47,000 千円
担当課 商工観光課



継

■ ため池ハザードマップ作成事業

防災減災対策として、自然災害により決壊した際、人家に対して甚大な被害が予想される防災重点ため池のハザードマップを順次作成します。
(本年度は5カ所作成予定)

予算額	3,080 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ 農業用水路等長寿命化・防災減災事業

哲多町花木久保井野畑地かんがい施設の改修工事を行います。また、加勢坂池の廃止工事を行い、防災減災対策を図ります。

予算額	18,525 千円
担当課	農業畜産振興課



継

■ 市街地浸水対策事業

内水氾濫防止のため、令和元年9月集中豪雨で浸水した新見地区及び高尾地区の公共下水道整備による浸水対策を行います。

予算額	235,000 千円
担当課	下水道課



継

■ 雨水対策河川改良事業

令和元年9月集中豪雨で災害の要因となった太田谷川・風木谷川の氾濫を防止するため、雨水対策を行います。

予算額	61,000 千円
担当課	下水道課



継

■ 緊急自然災害防止対策事業（道路）

災害発生の予防及び災害拡大を防止するため、道路防災工事や道路照明のLED化を令和7年度まで集中的に行います。

予算額	421,800 千円
担当課	建設課



継

■ 緊急自然災害防止対策事業（河川）

災害発生の予防及び災害拡大を防止するため、護岸改修や浚渫残土処分を令和7年度まで集中的に行います。

予算額	160,000 千円
担当課	建設課



継

■ 緊急浚渫推進事業

災害発生の予防及び災害拡大を防止するため、河川浚渫を令和6年度まで集中的に行います。

予算額	36,500 千円
担当課	建設課



継

■ 大規模盛土造成地簡易地盤調査事業

第2次スクリーニングの優先度が高い大規模盛土造成地のうち、追加調査が必要とされた造成地について簡易地盤調査を実施し、第2次スクリーニングが必要な箇所を選定します。

予算額	4,200 千円
担当課	都市整備課



継

■ 道路災害復旧事業

令和4年9月豪雨で被災した市道畑線、県道豊永赤馬長屋線の復旧工事を行います。

予算額	254,500 千円
担当課	建設課



継

■ 消防団員確保対策事業

近年災害が多発化激甚化する中、消防団に求められる役割が多様化しているため、消防団を中核とした地域防災力の充実強化及び団員の確保を図ります。（令和4年度に報酬等増額）

予算額	65,346 千円
担当課	消防本部

DX

継

■ ドローン運用体制構築事業

災害時の支援・人命救助のため、物資輸送可能な産業用ドローンを導入するとともに、操縦士の養成を行います。

予算額	5,651 千円
担当課	消防本部

継

■ 自動車急発進防止装置整備費補助事業

高齢者のブレーキとアクセルの踏み間違いによる交通事故を抑制するため、急発進防止装置購入費の一部を助成します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額	750 千円
担当課	交通対策課

V 都市基盤・交通

～人と環境に配慮した質の高い都市基盤をつくる～



新

■ 公募型鉄道利用促進事業

市民団体等からJR利用促進の提案事業を募集し、成果が見込める取組を選定し事業委託を行います。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額 1,000 千円
担当課 交通対策課



拡

■ 鉄道利用促進事業

JR利用者の増加を図るため、新見市鉄道利用促進協議会を中心にICOCA地域ポイントを活用した利用促進の取組や利用啓発活動、各種イベント等を行います。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額 1,000 千円
担当課 交通対策課



新

■ 公共交通キャッシュレス決済導入事業

利用者の利便性の向上とキャッシュレス化推進のため、市街地循環バス（ら・くるっと）に、ICOCA等が利用できるキャッシュレス端末を導入します。

予算額 7,644 千円
担当課 交通対策課



拡

■ 地域公共交通計画に基づく公共交通再編事業

地域公共交通計画に基づき、千屋・神郷乗合タクシーの本格運行を目指します。また、本年度新たに大佐地域で乗合タクシーの実証運行を行います。

予算額 56,186 千円
担当課 交通対策課



継

■ 芸備線利用促進実証運行事業

JR芸備線の利用促進と効率的で持続可能な交通体系を構築するため、哲西地域で乗合タクシーの実証運行を引き続き行います。

予算額 12,800 千円
担当課 交通対策課

DX

新

■ 新見駅前駐車場・駐輪場再整備事業

新見駅前駐輪場枠が不足しているため、駅前第2駐車場の半分を駐輪場に再整備します。また、駅前広場駐車場の精算機をICOCA対応のものに変更します。

予算額	32,000千円
担当課	総務課

新

■ 都市公園施設長寿命化計画策定事業

公園施設の長寿命化対策のため、施設の設置状況、利用状況、劣化及び損傷の状況を現地調査で把握し、都市公園施設長寿命化計画の改定を行います。

予算額	22,000千円
担当課	都市整備課

継

■ 金谷地区土地区画整理事業

各種拠点施設が近接する金谷地区に、防災ネットワーク道路にもなる都市計画道路を基軸とした市街地整備を行います。(本年度は、事業所建物物件調査、JR協議資料作成、地元説明会の開催など)

予算額	10,794千円
担当課	都市整備課

継

■ 新見駅周辺まちづくり検討事業

新見駅まちづくり基本構想に基づき、官民の幅広い関係者が参画するプラットフォームの構築や未来ビジョンの策定、駅周辺の賑わい創出に向けたイベント等の実施、駅バリアフリー化の検討を行います。

予算額	22,050千円
担当課	都市整備課

VI 環境

～自然を守り、安らぎと潤いのある環境をつくる～



新

■ 地球温暖化対策実行計画策定事業

温室効果ガスの排出削減に向けた中期目標(令和6年度～12年度)及び長期目標(令和32年度)を定めた地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定します。

予算額	2,850千円
担当課	環境課



新

■ 市内事業者地域脱炭素化支援事業

地域脱炭素創生・岡山コンソーシアム(地域金融機関、国、県、岡山大学)との連携により、地域脱炭素化の普及啓発を目的として講演会の開催や脱炭素化に取り組む事業者の相談支援を行います。

予算額	442千円
担当課	環境課



新

■ 暮らしの脱炭素促進事業

2050年脱炭素社会の実現を目指し、暮らしの中での脱炭素化を促進するため、自家用電気自動車購入に係る経費の一部を助成します。

予算額	3,000千円
担当課	環境課



継

■ 住まいの脱炭素促進事業

2050年脱炭素社会の実現を目指し、家庭での脱炭素化を促進するため、太陽光発電システム、蓄電池、電気自動車用普通充電器等の設置に係る経費の一部を助成します。

予算額	3,000千円
担当課	環境課



新

■ 蜂の巣駆除支援事業

スズメバチ危害を防止し、市民生活の安全を確保するため、蜂の巣を駆除した場合、駆除に係る経費の一部を助成します。

予算額	300千円
担当課	環境課

DX

新

■ ペーパーレス会議システム導入事業

行政事務効率化と環境配慮のため、市及び市議会で開催される会議を対象に、タブレット端末を活用したペーパーレス会議システムを推進します。

予算額 30,247 千円
 担当課 情報政策課、議会事務局

継

■ 新たな森林管理システム構築事業

適切な管理が行われていない森林を市が所有者から委託を受けて管理するため、経営管理の委託意向調査から森林整備まで行う「新たな森林管理システム」を構築します。【森林環境譲与税事業】

予算額 16,000 千円
 担当課 林業振興課

継

■ 木質バイオマス利用促進事業

林地残材を未利用材としてチップ工場に搬出し、市内の木質バイオマス発電所で利用した場合や、未利用材の搬出等を条件に作業道を開設した場合に経費の一部を助成します。【森林環境譲与税事業】

予算額 38,800 千円
 担当課 林業振興課

継

■ 市町村森林経営管理事業

森林経営管理法に基づき、意向調査等を実施した神郷地域で自然的条件から林業経営に適さない森林について市が間伐を行います。【森林環境譲与税事業】

予算額 10,000 千円
 担当課 林業振興課

継

■ 森林保育支援事業

森林保育作業で岡山県森林組合連合会の補助対象外となる6～10年生の人工林で、下刈り作業を実施する場合、その経費の一部を助成します。【森林環境譲与税事業】

予算額 760 千円
 担当課 林業振興課



■ 植林促進事業

森林の多くが標準伐期を迎え、今後主伐の増加が見込まれていることから、主伐後の造林補助を行い、災害予防及び適切な森林整備を促進します。【森林環境譲与税事業】

予算額	25,500 千円
担当課	林業振興課



■ 企業との協働の森づくり事業

哲西町上神代・大野部地内の市有林森林整備を企業と協働して行います。(JTと令和4年度から3ヶ年の協定を締結)

予算額	21,636 千円
担当課	林業振興課



■ 電気自動車用急速充電器運用事業

2050年脱炭素社会の実現を目指し、哲西道の駅鯉が窪と市役所南庁舎前に設置する電気自動車用急速充電器の運用を開始します。

予算額	2,317 千円
担当課	環境課



■ バイオマス原料配合ごみ袋導入事業

温室効果ガスの削減や石油資源の節約を図るとともに、市民の環境意識を高めるため、バイオマス原料を10%配合したごみ袋を採用し、順次切り替えていきます。

予算額	23,298 千円
担当課	環境課



■ 環境教育事業「ごみの行方」

小学4年生を対象に、家庭から排出されるごみの処理などについて説明し、ごみの適正処理や減量化に向けた意識の向上を図ります。

予算額	768 千円
担当課	環境課



継

■ クリーンセンター基幹的設備整備事業

ごみ焼却施設の安定的な稼働と延命化を図るため、クリーンセンターの基幹的設備を整備します。

予算額	215,000 千円
担当課	廃棄物処理センター

VII 交流・コミュニティ

～多様な人が集い、交流し、活躍するまちをつくる～



新

■ シティプロモーション事業

本市に注目を集め、観光誘客を促進するため、全国的に知名度のある有名人等を起用した雑誌や動画等を制作し、潜在層に対して効果的なシティプロモーションを行います。

予算額 20,000 千円
担当課 商工観光課



新

■ 移住・関係人口増加に向けた情報発信事業

地方に関心を持つユーザーが多数登録している民間のサイトを活用することで、関心層に対して更なる情報発信力の強化を図ります。

予算額 1,166 千円
担当課 移住・定住推進課



新

■ 新見ファンを増やす魅力向上事業

本市のコアファン(熱量の高いファン)を見つけ出し、本市のファンが感じる価値に基づいたシティプロモーションを展開します。

予算額 6,868 千円
担当課 総合政策課



DX
新

■ 地方創生テレワーク推進事業

サテライトオフィスを誘致し、地元での雇用と新たなビジネスを創出することで、就職時の若者流出を防ぎ、移住者の増加を図ります。(本年度は誘致戦略の検討、視察対応マニュアルとプレゼン資料の作成など)

予算額 8,000 千円
担当課 移住・定住推進課



拡

■ ふるさと納税促進事業

ふるさと納税寄附件数の増加を図るため、本市の特産品や地域のプロモーションの幅を広げ、寄附金総額1億2千万円以上を目指します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額 42,950 千円
担当課 移住・定住推進課

DX

新

■ オンライン縁結びサポート事業

独身男女の成婚につなげるため、WEB上で24時間いつでも相手を探すことができるマッチングサイトの利用や専門のカウンセリング費用の一部を助成することにより、独身者の婚活を支援します。

予算額	1,765 千円
担当課	総合政策課

新

■ 結婚新生活支援事業

夫婦ともに39歳以下かつ世帯所得500万円未満の世帯に対し、結婚に伴うスタートアップに係る住宅取得費用または賃借費用、引越費用、リフォーム費用の一部を助成します。

予算額	3,000 千円
担当課	総合政策課

継

■ 空き家活用推進事業

移住希望者や市内在住者のうち満40歳以下の人、もしくは中学校卒業までの子を養育している人が市内定住を目的に空き家を活用する場合、購入や改修費等を助成します。

予算額	40,400 千円
担当課	移住・定住推進課

継

■ ふるさと定住支援金支給事業

若年者の定住を促進し、地域を活性化するため、市内に定住し、市内または通勤可能な市外事業所等において就業する新規学卒者等に対し、ふるさと定住支援金を支給します。

予算額	4,500 千円
担当課	移住・定住推進課

継

■ 関係人口創出事業

関係人口を活用した地域づくりのため、本市の応援団となる市外在住者に対し、「ふるさと市民証」の交付や市内施設を利用できる半額助成券の送付など来新の機会を創出します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額	852 千円
担当課	移住・定住推進課



継

■ 地域おこし協力隊事業

地域外から意欲ある人材を受け入れ、新たな視点・発想により本市の地域資源を再発見し、地域の元気づくりにつなげます。

予算額	29,843 千円
担当課	移住・定住推進課



継

■ DX推進アドバイザー活用事業

CDO(副市長)補佐官として、DX推進に関する助言など全庁的なサポートを求めるためのアドバイザー業務を委託します。

予算額	5,500 千円
担当課	情報政策課



継

■ 公募型まちづくり事業

地域課題の解決や地域活性化につなげるため、市民団体等が自ら企画実施する事業を公募し、提案団体へモデル的に委託し実施します。

予算額	5,000 千円
担当課	総合政策課



継

■ 小規模多機能自治一括交付金事業

新見市版地域共生社会構築計画に基づき、小規模多機能自治に取り組む地域運営組織に財政支援策として、用途に必要な以上の制限を設けない一括交付金を交付します。(23団体を予定)

予算額	36,872 千円
担当課	総合政策課



継

■ 地域運営組織活動拠点施設整備事業

旧唐松小学校跡地に地域運営組織の活動拠点となる地域づくりセンター(市民センターとの複合施設)を整備します。

予算額	360,054 千円
担当課	総合政策課

令和 5 年度 予算概要説明書

附 属 資 料

会 計 別 当 初 予 算 集 計 表

(単位：千円、%)

会 計 名	令和5年度	令和4年度	増 減 額	増減率
一 般 会 計	25,480,415	25,049,584	430,831	1.7
特 別 会 計 合 計	8,957,018	8,919,644	37,374	0.4
診 療 所 特 別 会 計	183,530	123,193	60,337	49.0
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	3,360,713	3,445,072	△ 84,359	△ 2.4
事 業 勘 定	3,212,050	3,296,207	△ 84,157	△ 2.6
直 営 診 療 施 設 勘 定	148,663	148,865	△ 202	△ 0.1
介 護 保 険 特 別 会 計	4,776,979	4,675,269	101,710	2.2
保 険 事 業 勘 定	4,759,421	4,656,690	102,731	2.2
介 護 サービス 事 業 勘 定	17,558	18,579	△ 1,021	△ 5.5
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	551,430	604,805	△ 53,375	△ 8.8
観 光 特 別 事 業 会 計	65,583	57,817	7,766	13.4
豊 永 財 産 区 特 別 会 計	12,604	12,753	△ 149	△ 1.2
萬 歳 財 産 区 特 別 会 計	6,179	735	5,444	740.7
企 業 会 計 合 計	5,375,793	4,534,781	841,012	18.5
水 道 事 業 会 計	2,493,071	1,882,875	610,196	32.4
下 水 道 事 業 会 計	2,882,722	2,651,906	230,816	8.7
合 計	39,813,226	38,504,009	1,309,217	3.4

一 般 会 計 当 初 予 算 歳 入 の 状 況

歳 入

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減 額	増減率
自 主 財 源	5,439,127	5,527,540	△ 88,413	△ 1.6
市 税	3,436,079	3,402,664	33,415	1.0
分 担 金 及 び 負 担 金	77,662	97,096	△ 19,434	△ 20.0
使 用 料 及 び 手 数 料	197,360	196,377	983	0.5
繰 入 金	982,506	1,039,196	△ 56,690	△ 5.5
そ の 他 (財産収入・寄附金・繰越金・諸収入)	745,520	792,207	△ 46,687	△ 5.9
依 存 財 源	20,041,288	19,522,044	519,244	2.7
地 方 譲 与 税	437,532	442,160	△ 4,628	△ 1.0
交 付 金	843,600	762,900	80,700	10.6
地 方 交 付 税	11,603,000	11,603,000	0	0.0
国 庫 支 出 金	2,060,456	2,172,625	△ 112,169	△ 5.2
県 支 出 金	1,025,700	1,215,459	△ 189,759	△ 15.6
市 債	4,071,000	3,325,900	745,100	22.4
合 計	25,480,415	25,049,584	430,831	1.7

主 な 増 減 理 由

- 市税は、景気が緩やかに持ち直していることにより微増
- 分担金及び負担金は、災害復旧費分担金の皆減や保育所入所児童運営費負担金の減少などにより減
- 繰入金は、農林畜産漁業創業支援事業の完了に伴う地域づくり振興基金繰入金の減少などにより減
- 国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時国庫交付金の皆減などにより減
- 県支出金は、生き活き拠点強化支援事業県補助金や強い農業づくり交付金事業費県補助金の皆減などにより減
- 市債は、臨時財政対策債は減少したものの、消防庁舎整備事業、げんき広場にいみ改修事業、地域運営組織活動拠点施設整備事業、クリーンセンター基幹的設備整備事業、神代小学校大規模改修事業、緊急自然災害防止対策事業などの実施により増

一般会計当初予算歳出の状況（目的別）

歳出

（単位：千円、％）

区 分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
議会費	167,465	159,590	7,875	4.9
総務費	3,704,728	3,439,943	264,785	7.7
民生費	5,305,035	5,848,150	△ 543,115	△ 9.3
衛生費	2,412,898	1,910,741	502,157	26.3
労働・商工費	545,750	643,325	△ 97,575	△ 15.2
農林水産業費	1,290,231	1,398,524	△ 108,293	△ 7.7
土木費	3,816,776	3,420,783	395,993	11.6
消防費	1,614,416	1,198,245	416,171	34.7
教育費	2,154,619	2,345,211	△ 190,592	△ 8.1
災害復旧費	260,500	265,832	△ 5,332	△ 2.0
公債費	3,226,604	3,396,030	△ 169,426	△ 5.0
諸支出金	911,393	953,210	△ 41,817	△ 4.4
予備費	70,000	70,000	0	0.0
合計	25,480,415	25,049,584	430,831	1.7

主な増減理由

- 総務費は、地域運営組織活動拠点施設整備事業、新見駅前駐車場・駐輪場再整備事業の実施などにより増
- 民生費は、哲西老人福祉施設改修事業、哲多認定こども園整備事業の完了などにより減
- 衛生費は、クリーンセンター基幹的設備整備事業、げんき広場にいみ改修事業の実施などにより増
- 土木費は、橋梁補修や落石対策工事の増額、都市公園施設長寿命化計画策定事業、市街地浸水対策事業（下水道事業会計負担金）の実施などにより増
- 消防費は、消防庁舎整備事業、消防緊急通信指令台更新事業の実施などにより増
- 教育費は、西方小学校大規模改修事業の完了などにより減

※ 本年度当初予算における地方消費税交付金（708,700千円）のうち社会保障財源化分（387,833千円）については、民生費の各種事業（子育て支援事業、高齢者福祉事業、障害者福祉事業など）に充当予定

一般会計当初予算歳出の状況（性質別）

歳出

(単位：千円、%)

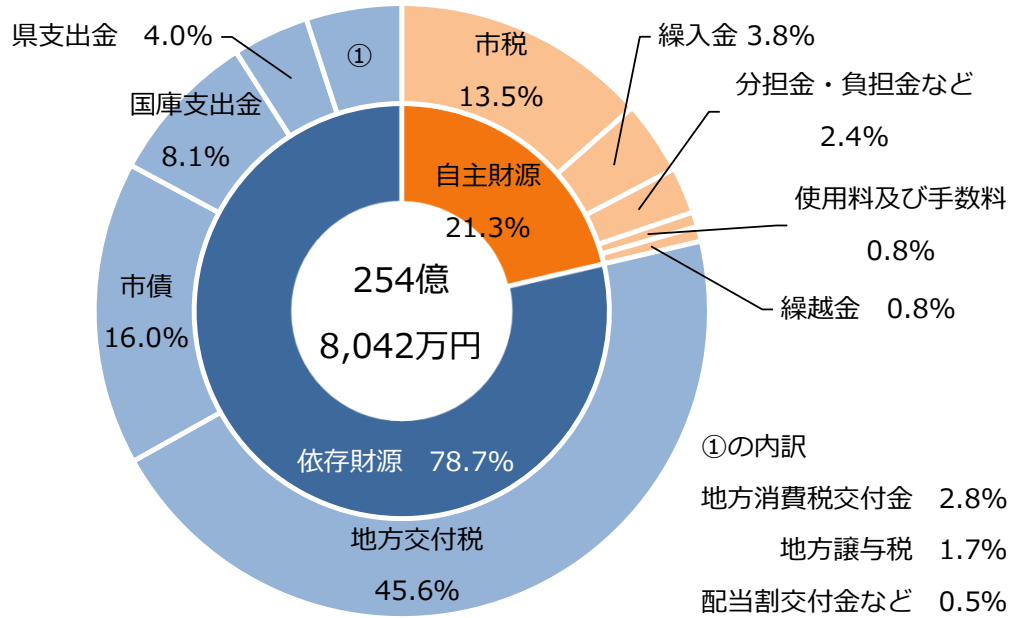
区 分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
義務的経費	10,054,320	10,216,705	△ 162,385	△ 1.6
人件費	4,910,768	4,851,715	59,053	1.2
扶助費	1,916,948	1,968,960	△ 52,012	△ 2.6
公債費	3,226,604	3,396,030	△ 169,426	△ 5.0
消費的経費	9,043,430	8,960,621	82,809	0.9
物件費	4,199,536	4,034,662	164,874	4.1
維持補修費	454,149	445,987	8,162	1.8
補助費等	4,389,745	4,479,972	△ 90,227	△ 2.0
投資的経費	4,309,563	3,833,523	476,040	12.4
普通建設事業費	4,050,663	3,567,691	482,972	13.5
災害復旧事業費	258,900	265,832	△ 6,932	△ 2.6
その他	2,073,102	2,038,735	34,367	1.7
積立金	302,818	293,255	9,563	3.3
出資金	448,371	424,932	23,439	5.5
貸付金	49,088	49,484	△ 396	△ 0.8
繰出金	1,202,825	1,201,064	1,761	0.1
予備費	70,000	70,000	0	0.0
合計	25,480,415	25,049,584	430,831	1.7

主な増減理由

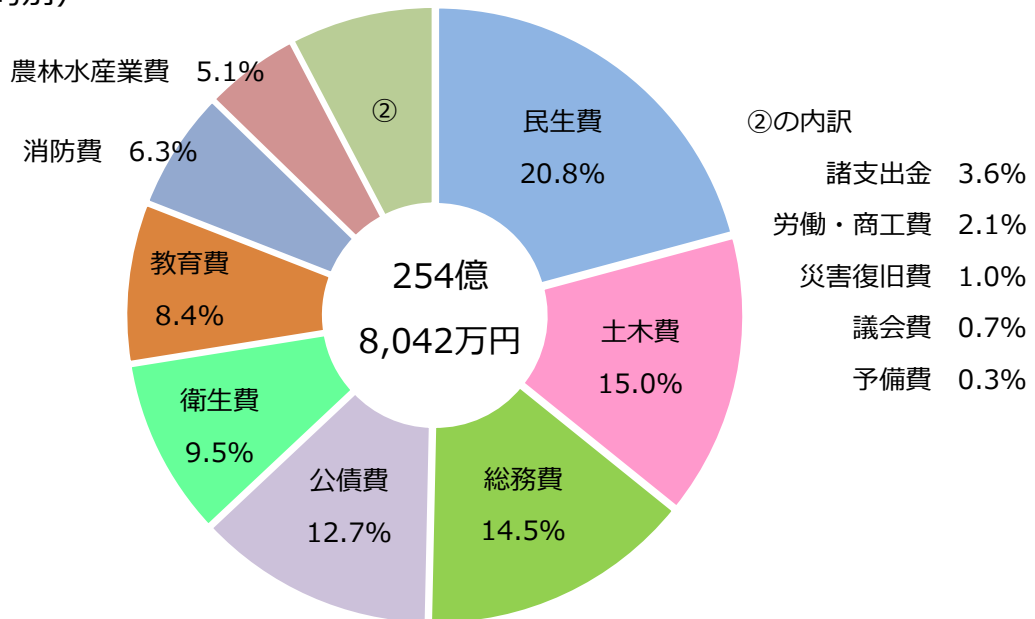
- 人件費は、職員数の増加などにより増
- 公債費は、市債の発行抑制や繰上償還を実施してきたことにより減
- 物件費は、電力価格高騰による電気代の増額、森林情報デジタル化推進事業、都市公園施設長寿命化計画策定事業などの実施により増
- 普通建設事業費は、消防庁舎整備事業、げんき広場にいみ改修事業、新見駅前駐車場・駐輪場再整備事業、地域運営組織活動拠点施設整備事業、神代小学校大規模改修事業などの実施により増
- 災害復旧事業費は、災害復旧事業の進捗により減

令和5年度一般会計当初予算構成比率

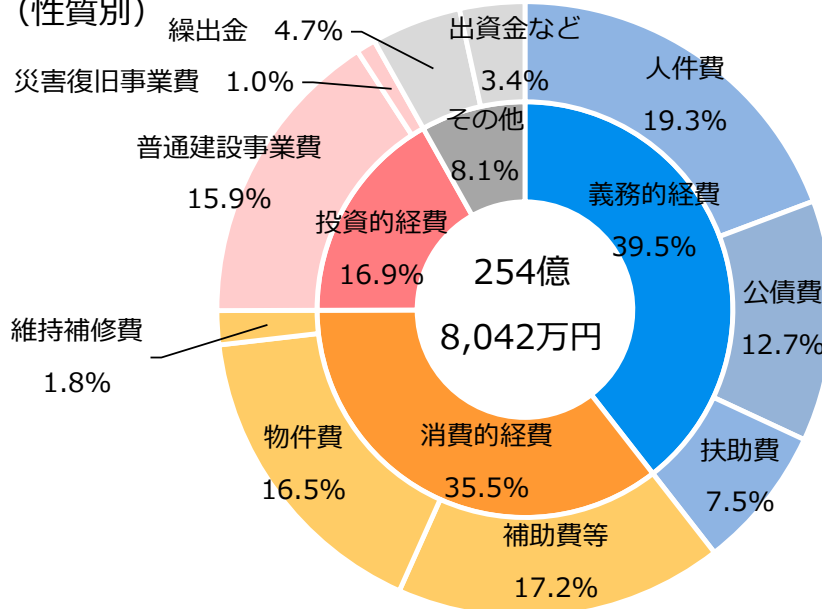
◆歳入



◆歳出（目的別）



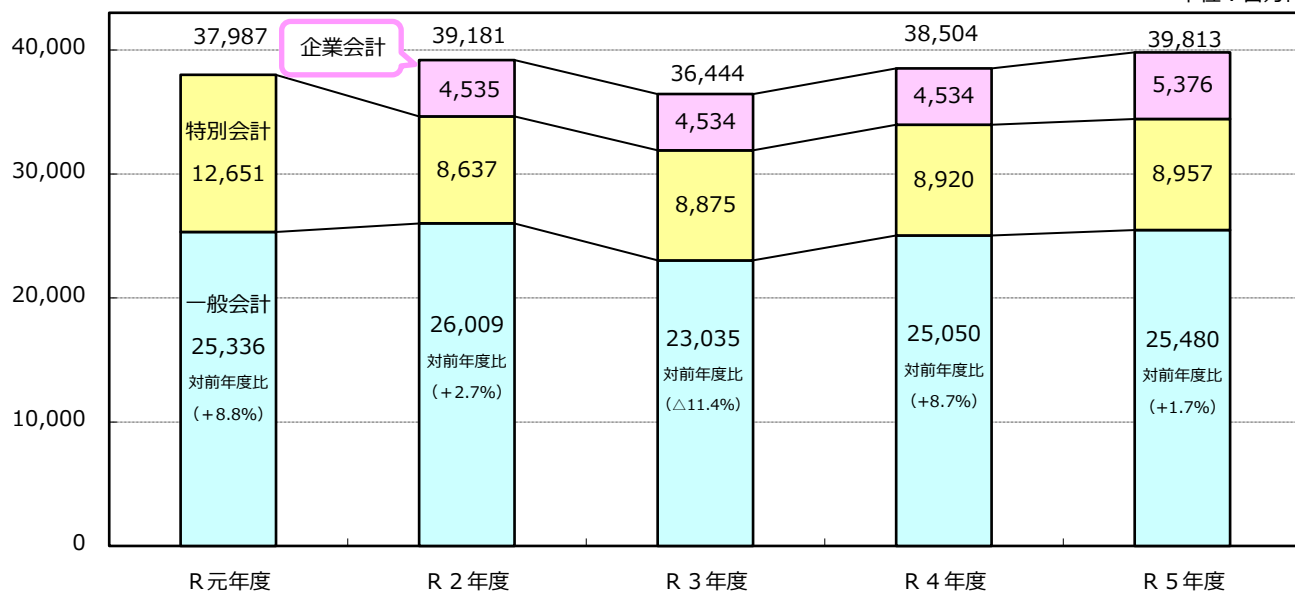
◆歳出（性質別）



※四捨五入の関係上、内訳が合計と一致しない場合がある

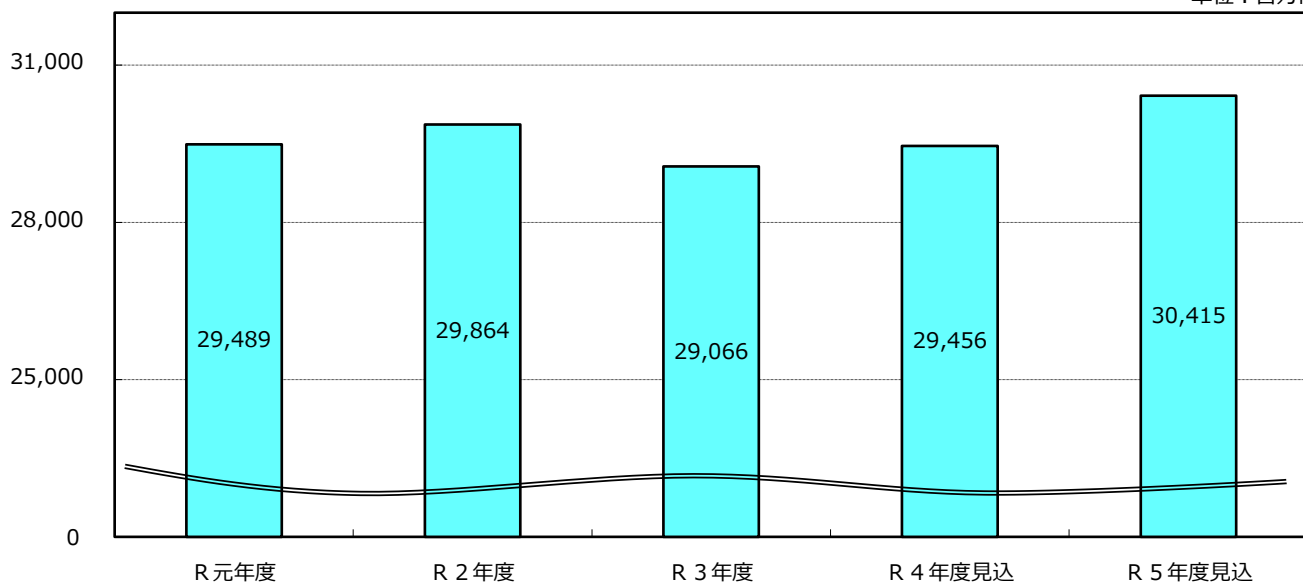
当初予算額

単位：百万円



一般会計地方債年度末現在高

単位：百万円



一般会計基金年度末現在高

単位：百万円

